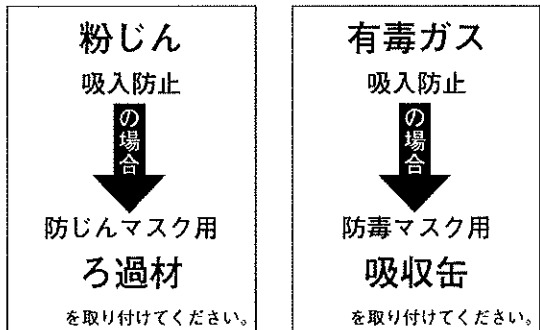


# 防じんマスク

## として使用する場合の取扱説明書

防じんマスク・防毒マスク 国家検定合格品

このマスクは、防じんマスク用あるいは防毒マスク用としてご使用いただけます。  
下記の組み合わせを間違わないようにご使用ください。



### 危険

粉じん環境では防毒マスク用吸収缶を絶対に使用しないでください。

本取扱説明書は防じんマスクとしてご使用いただく場合の取扱いについて記載しています。  
防毒マスクとしてご使用される場合は、別紙の防毒マスク用の取扱説明書をご覧ください。

### 業務用

本製品は業務用ですので、労働安全衛生及び呼吸用保護具の十分な知識を有する方が使用するが、または十分な知識を有する方の指導の下で使用してください。

- ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みになり、内容を十分にご理解ください。
- その後もお手元に置き、ご使用中に不明な点がございましたら、その都度内容をご確認ください。

### 取替え式防じんマスク

(種類：直結式・半面形 区分：RL3)

## サカ式 7121R型

型式名称

サカ式 7121R-03 型

国家検定合格第 TM644 号

※ご使用の際には国家検定合格標章が付いているか必ず確認してください。

### 安全に正しくご使用いただくために

- 防じんマスクはご使用にあたっていくつかの制限的条件があり、これをお守りいただかないと生命、身体に重大な危険を及ぼすおそれがあります。
- この説明書は、安全上重要な内容に△危険、△警告、△注意を記載しています。以下が定義ですので、内容をよく理解し、本文をお読みください。

#### 危険

…記述内容に従った操作や処理を守らないと生命、身体に重大な被害を及ぼす可能性が高いことを意味します。

#### 警告

…記述内容に従った操作や処理を守らないと生命、身体に重大な被害を及ぼす可能性があることを意味します。

#### 注意

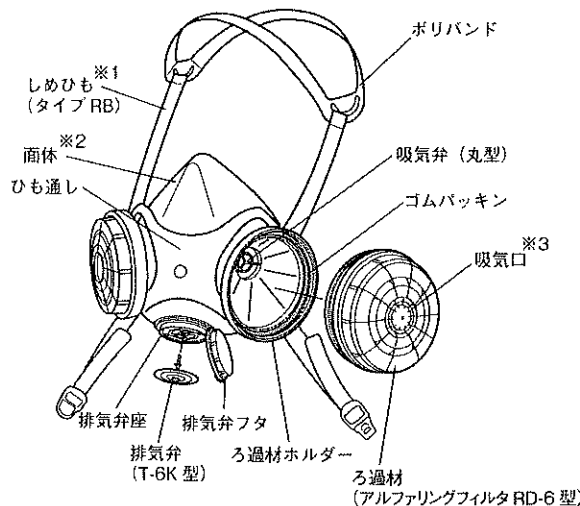
…記述内容に従った操作や処理を守らないと身体に軽微な被害または物損事故をおこすおそれがあることを意味します。

### 使用の範囲

本品は、粉じん等の吸入を防ぐために使用する防じんマスクです。オイルミスト等の有無にかかわらず、次の作業で使用できます。

- 放射性物質がこぼれたとき等による汚染のおそれがある区域内の作業または緊急作業。
  - ダイオキシン類等のばく露のおそれのある作業のうち、レベル1に該当する作業。
  - 「アスベスト(石綿)除去作業用マスクの区分3、4」が使用できる作業。
  - これらに準ずる作業。
- ただし、下記の「△危険」の環境では使用しないでください。

### 構造及び各部の名称



※1 しめひもは、標準品の「タイプRB」のほかにポリバンド部分が頭テープの「タイプRA」仕様もあります。

※2 面体にはMサイズ(標準)とSサイズの2種類があります。

※3 スパッタや火花などの吸気口への飛び込みを低減する「吸気口キャップ」の取付けが可能です。(別売)

### 危険

- 酸素欠乏環境 (酸素濃度が18%未満)、酸素濃度が不明、または有毒ガス環境では、絶対に使用しないでください。  
酸素欠乏、ガス中毒のため、死亡もしくは急性障害などになります。  
このような環境では送気マスク等をご使用ください。
- 「アスベスト除去作業マスク区分1のマスクが必要な作業」、「ダイオキシン類のばく露のおそれがある作業で使用区分レベル1以外の作業」、「これらに準ずる作業」では使用できません。  
このような環境では、電動ファン付き呼吸用保護具、防じん防毒併用呼吸用保護具など環境に適した保護具をご使用ください。

### 警告

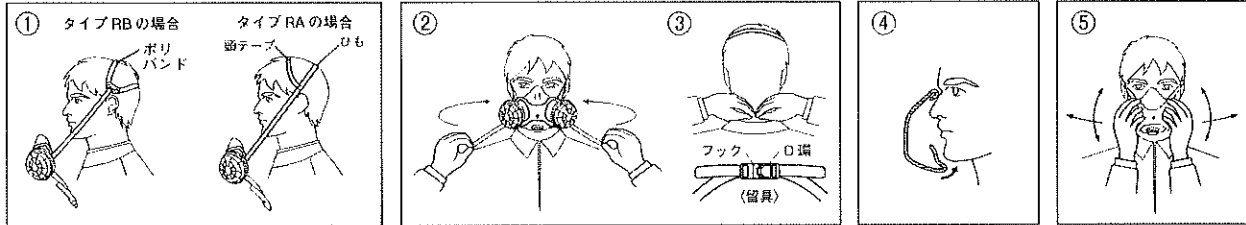
- マスク自体が著しく高温となる環境、または呼吸等に含まれる水分が氷結する低温環境では使用しないでください。  
部品の変形や氷結の付着により排気弁等の動作不良が生じ、粉じんが漏れ込むおそれがあります。
- 面体が顔によくフィットしていることを確認してください。  
「フィットテストのしかた」(P2)に従って密着性を確認してください。
- 以下の場合、気密が保てず、有害物質が漏れ込むおそれがありますので、改善しない限り使用しないでください。  
・接面部にヒゲ、もみあげ、髪の毛が入り込んだまま使用する。  
・排気弁の作動を妨げるような口ひげやごひげがあるまま使用する。
- 呼吸器系および循環器系に疾患がある場合、または産業医等が不適当と認めた場合は使用しないでください。
- 溶接作業や研磨作業などの際に、スパッタや火花などが発生する場合は、必ず吸気口キャップ (別売) を取り付けてご使用ください。  
吸気口からのスパッタや火花などの侵入を低減する効果があります。  
吸気口からスパッタや火花が侵入すると、ろ過材が破損するおそれがあります。
- ガウジング作業などの際に、スパッタや大量の火の粉が発生する場合は、溶接面に頭巾等を併用してご使用ください。  
溶接面とマスクの間にスパッタや大量の火の粉が入り込むおそれがあります。
- 狭い場所での作業は、マスクをぶつけないよう注意してください。  
マスクがずれ、有害物質が漏れ込むおそれがあります。

## 使用方法

- ・ご使用にあたっては、必ず純正部品を使用してください。(4ページに記載)
- ・ご使用になる前に、必ず4ページの点検のしかたに従って、使用前の点検を行ってください。

**<装着のしかた>** 取り付けや取りはずしは有害物質などのない安全な場所で行ってください。

- ①ポリバンドまたは頭テープを、後頭部で安定するようにかけてください。
- ②しめひもの留具(フック、D環)を持ち、左右に均等に引きながらマスクを顔にあててください。
- ③首の後ろで留具を留めてください。
- ④<しめひもの調節>に従ってしめひもの長さを調節し、面体を鼻梁部から顔に密着させ、その後にあご部を合わせてください。
- ⑤装着したらマスクを上下左右に動かし、安定する位置にしてください。
- ⑥装着が完了したら、必ず“フィットテスト”を行ってください。
- ⑦はずす場合は、留具をはずしてください。

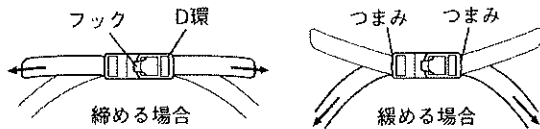


## <しめひもの調節> (タイプRB、タイプRA 共通)

マスクと顔との間にすき間なく装着できるように、また過度に圧迫されないようにしめひもの長さを調節してください。しめひもの調節は、次の手順で行ってください。

※しめひもの長さは、左右均等になるようにしてください。

- ①締める場合は、フック、D環両方のしめひもの先端を引いてください。
- ②緩める場合は、つまみを起こしながら面体側のしめひものを引いてください。



### 注意

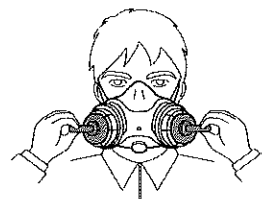
- しめひもの長さが合わない場合は、<しめひもの調節>の項目に従って長さを調節してください。
- しめひものに十分な弾力があり、締り付けに必要な強度があることを確認してください。
- しめひものを強く締めすぎるとフィット感が悪くなったり、長時間の作業では不快になったりするのでご注意ください。
- しめひもの調節後は、必ずフィットテストを行ってください。

### 警告

- タオルなどを顔にあてた上から装着しないでください。有害物質が面体内へ漏れ込む原因となります。
- しめひものは左右均等の長さで装着してください。伸びたしめひもや片側に寄ってしまったしめひもが長く余っていると、しめひもが機械等に巻き込まれる等のおそれがあります。
- アレルギー体質の方や肌の弱い方は、マスクの使用により肌荒れや湿疹などを起こすことがあります。また、汗や粉じん、面体の汚れなどの影響によりそれらの症状が現れることがあります。その場合は使用を中止し、医師にご相談ください。
- 作業中にマスクがずれるなど、正しい装着状態が得られなくなった場合は、有害物質などのない安全な場所へ移動し、正しい装着状態に戻してください。
- ろ過材に振動や衝撃を与えないでください。機能低下、破損の原因になります。

## フィットテストのしかた

フィットテストは、有害物質などのない安全な場所で行ってください。



- ①フィットテスター(別売)を吸気口に2個ともはめ込んでください。
- ②マスクを装着してフィットテスターのパイプの先端を指でふさぎ、息を吸い込んでください。
- ③空気の侵入がなく、面体が顔に吸い付くように感じられれば密着は良好です。
- ④空気の漏れ込みが感じられましたら密着が確認できるまで装着状態や各部取付け状態を再チェックし①~③を繰り返してください。
- ⑤密着が良好なことが確認できましたら、必ずフィットテスターをはずしてから作業にお入りください。

### 警告

- フィットテストは、使用前に必ず行ってください。正しく装着されていないと顔と面体のすき間から面体内に有害物質が漏れ込み、吸入してしまいます。
- フィットテスト時に面体内への空気の流入が感じられた場合は、マスクを使用しないでください。有害物質が漏れ込み吸入してしまいます。
- フィットテスターをはずす際は、マスクがズレないように注意してください。

## しめひもの交換

- ・有害物質などのない安全な場所で行ってください。
- ・必ず専用の純正部品を使用してください。

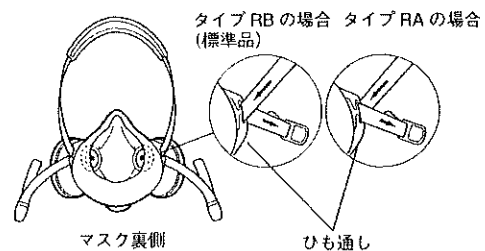
### 交換の時期

次のいずれかの状態になった時は、しめひもを新品と交換してください。

- ◎しめひもに著しい汚れ、ゴムの劣化によるべとつきなどがある場合
- ◎しめひもに十分な弾力、締り付けに必要な強度がない場合
- ◎留具やポリバンドに、亀裂・変形・破損や欠損などが生じた場合
- ◎留具がしっかりと留まらない、または容易に取りはずせない場合

### 交換の手順

- ①しめひもをひも通しの左右それぞれからはずしてください。
- ②新しいしめひもを取り付ける際は、しめひもを面体側から通し、ひも通しに確実にかけてください。(タイプRBの場合)タイプRAの場合は外側から通し、ひも通しに確実にかけてください。



注意：しめひもの向き、ねじれにご注意ください。

## ろ過材（フィルタ）の交換

- ・有害物質などのない安全な場所で行ってください。
- ・必ず専用のろ過材を使用してください。

### 交換の時期

以下のいずれかの状態になった時は、ろ過材を新品と交換してください。

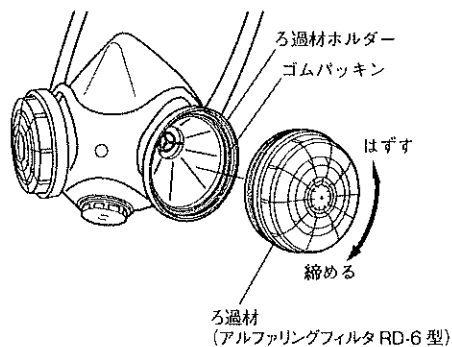
- ◎息苦しくなった場合
- ◎ろ過材が破損、変形した場合、穴が開いた場合

### 交換の手順

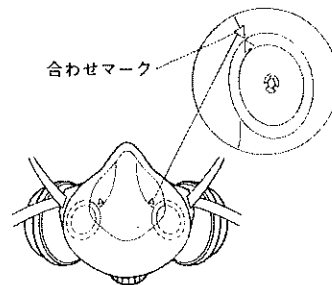
交換用ろ過材アルファリングフィルタは、2個ずつ包装されています。次の手順に従って必ず左右2個とも交換してください。

- ①古いろ過材をはずしてください。\*
- ②ゴムパッキンが、ずれ、歪みなどなくろ過材ホルダーの奥まではめ込まれていることを確認してください。
- ③新しいろ過材を右に回しながらろ過材ホルダーにしっかりねじ込み、取り付けます。
- ④新しいろ過材のネジがかんでいないか、歪みがないか確認します。
- ⑤合わせマークの位置が合っているか確認します。

※廃棄するろ過材は分解せず、有害物質が飛散しないよう袋などで密封し、「腐プラスチック類」、「ガラ陶くず」を含むこと、有害物質の付着があることを産業廃棄物処理業者に伝えて適切な処理を依頼してください。



◎必ず2個とも交換してください。



## 吸気弁・排気弁の交換

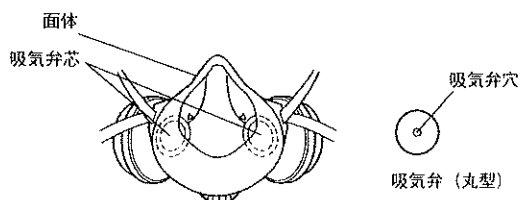
- ・有害物質などのない安全な場所で行ってください。
- ・必ず専用の純正部品を使用してください。

### 吸気弁・排気弁の交換の時期

- ◎亀裂・変形・キズなどの破損、汚れ・ゴムの劣化によるべつつきなどが認められた場合

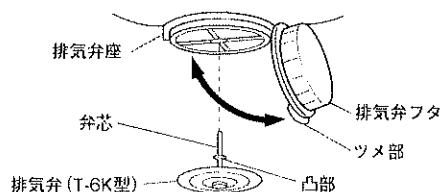
### 吸気弁の交換手順

- ①面体の内側についている吸気弁を吸気弁芯より取りはずしてください。
- ②新しい吸気弁を取り付ける際は、吸気弁の穴を少し広げながら、吸気弁芯に確実に取り付けてください。



### 排気弁の交換手順

- ①面体下部の排気弁フタを開けてください。
- ②排気弁を指でつまんで引き抜いてください。
- ③新しい排気弁を取り付ける際は、まず、弁芯を排気弁座の中央の穴に通してください。
- ④面体の内側に弁芯が突き出しますので、指でつまんで弁芯の凸部が内側に出るまで引っ張ってください。
- ⑤排気弁のまくれなどがなくを確認し、排気弁フタを閉じてください。



**警告**

- 排気弁座にキズを付けないようにしてください。有害物質が面体内に漏れ込み吸入してしまいます。

## 付属品の名称及び使用方法

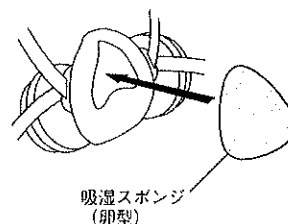
- ・取付や交換は、有害物質などのない安全な場所で行ってください。
- ・必ず専用の付属品を使用してください。

### ●吸湿スポンジ（卵型）

面体内部の湿気や汗などによる水滴が不快な場合などにご使用ください。

### ご使用方法

卵型の細い側を上にして面体の内側に入れてください。その際、吸気弁の作動に支障をきたさないように入れてください。



# 点検のしかた

有害物質などのない安全な場所で行ってください。

点検箇所	判定基準	不具合時の処置	
面体	亀裂・変形・穴などの破損、ゴムの劣化によるべとつき、または著しい汚れがないこと。	マスクを新品と交換してください。 また、著しい汚れや異物の付着がある場合は、清掃してください。	
ひも通し ろ過材ホルダー	亀裂・変形・穴などの破損、または著しい汚れがないこと。 ろ過材ホルダーは、ろ過材の取付けが確実にできること。		
排気弁座 排気弁フタ	亀裂・変形・キズなどの破損がなく、フタがしっかりと閉じること。 また、著しい汚れや粉じんなど異物の付着がないこと。	排気弁を新品と交換してください。 また、粉じんなどの異物が付着している場合は清掃してください。	
排気弁	亀裂・変形・キズ・穴などの破損、ゴムの劣化によるべとつきがないこと。 または著しい汚れや粉じんなどの異物の付着がなく、正常に動作すること。		
吸気弁 ゴムパッキン	亀裂・変形・キズ・穴などの破損、ゴムの劣化によるべとつきがないこと。 著しい汚れや粉じんなどの異物の付着がないこと。	吸気弁またはゴムパッキンを新品と交換してください。 また、汚れがある場合は、清掃してください。	
しめひも	ひも部	十分に弾力があり、締付けに必要な強度があること。	しめひもを新品と交換してください。 また、汚れがある場合は清掃してください。
	ポリバンド 留具	亀裂・変形・欠損などがなく、留具はしっかりと留まり、容易に取りはずしができること。	
ろ過材	外観	変形・穴などの破損、著しい汚れや湿りがないこと。	ろ過材を新品と交換してください。
	吸気抵抗	装着時に息苦しくないこと。	
各部を接合した状態	すべての構成部品の欠損や、接合部などにすき間が生じていないこと。 すべての構成部品が正しく取り付けられていること。	不足部品の取付け、または新品と交換してください。 構成部品を正しく取付け直ししてください。	

◎清掃のしかたについては、「使用後のお手入れ」をご参照ください。

## ●性能

	社内基準値	平均値
粒子捕集効率(DOP粒子)	99.9%以上	99.99%
吸気抵抗	85Pa以下	68Pa
排気抵抗	52Pa以下	30Pa
吸気抵抗上昇値	—	85Pa
二酸化炭素濃度上昇値/死精	0.7%(280cm <sup>3</sup> )以下	0.56%(224cm <sup>3</sup> )
質量	172g以下	157g

上記の数値は、M面体・標準のしめひもをご使用で、オプション品等を取り付けていないときの性能です。

### 交換用部品について

以下の交換用部品を販売しております。  
お買い上げの販売店でお求めください。

- ろ過材……………アルファリングフィルタ RD-6 型 (2個入り)
- 吸気弁……………吸気ゴム弁 丸型 (5個入り)
- 排気弁……………排気ゴム弁 T-6K 型 (5個入り)
- ゴムパッキン……………ゴムパッキン RDG-5 用 (10枚入り)
- しめひも……………頭ひもタイプ RB (標準品)、タイプ RA (共に5本入り)
- 吸湿スポンジ……………吸湿スポンジ卵型 (50枚入り)

### オプション(別売)品について

- マスクと顔との密着性を確認するフィットテスター (2個1組)  
……………フィットテスターV型
- 吸気口からのスパッタや火花などの侵入を低減するキャップ  
……………吸気口キャップ (2個入り)

# お手入れと保管方法

使用後はお手入れをし、清潔に保ってください。

## 1. 使用後のお手入れ

使用後のお手入れは有害物質などのない安全な場所で行ってください。

### ⚠警告

- 改造や交換箇所以外を分解しないでください。
- 部品交換する際は、純正品以外は使用しないでください。

## ●ろ過材

### ⚠危険

- 使用済みのろ過材は分解やお手入れなどせず、粉じんが再飛散しないように密封性の高い袋などに詰めて適切な方法で廃棄してください。

### ⚠警告

- 下記の行為はろ過材の変形、破損及び性能劣化などの原因になりますので、絶対におやめください。
  - ・ろ過材に付着した粉じんを除去するために強くたたきなど、必要以上の力を加える。
  - ・ろ過材に付着した粉じんをコンプレッサなどの圧縮空気で吹き飛ばす、または掃除機などで吸引する。
  - ・ろ過材を水洗いする。
- 放射性物質、ヒ素、クロム、ダイオキシン類、アスベスト(石綿)等の有害性が高い粉じん等に対して使用したろ過材は、再使用しないでください。(1回ごとに廃棄してください。)

## ●ろ過材以外

### ⚠注意

- 必ず、ろ過材をはずしてからお手入れを行ってください。

- ◎付着した粉じん、汗などの汚れは、乾いた布または軽く水で濡らせた布などでキズを付けないように拭き取ってください。
- ◎著しい汚れは、ぬるま湯で薄めた中性洗剤でキズが付かないように洗浄してください。特に排気弁座、排気弁には注意してください。なお、中性洗剤は完全にすすぎ落としてください。
- ◎洗浄後は水分をよく拭き取り、十分に陰干ししてからご使用ください。
- ◎顔に触れる部分、マスクの内側などは、消毒用アルコールを布などにふくませ消毒してください。その後、アルコールを完全に拭き取ってください。

### ⚠注意

- 接顔部は常に清潔にしてください。  
接顔部の汚れは、肌荒れ、かぶれの原因になります。
- 消毒用アルコールを使用した場合は、十分に乾燥させ、または水で洗い流して水分をよく拭き取ってください。
- シンナーなどの有機溶剤をお手入れに使用しないでください。

## 2. 保管方法

### ●保管場所

お手入れ後は、粉じん発生環境下や温度差の激しい場所、湿度の高い場所は避け、積み重ねなどにより、面体、しめひも等について亀裂・変形などの異常を生じないように乾燥した状態で保管してください。

また、保管時は直射日光のあたらない場所に専用の保管場所を設け、保管状況が容易に確認できるようにしてください。

# 興研株式会社

本社 ☎102-8459 東京都千代田区四番町7番地  
☎03(5276)1911(大代表) FAX03(3261)0589  
商品に関するお問い合わせは、本社もしくは最寄りの営業所までお願いいたします。

営業所	
北海道 ☎ 011(832)3911	北陸 ☎ 076(298)1010
仙台 ☎ 022(374)0420	大阪 ☎ 06(6326)9223
新潟 ☎ 025(255)0121	神戸 ☎ 078(511)0414
千葉 ☎ 043(293)0411	兼松 ☎ 086(423)2321
熊谷 ☎ 048(524)2928	広島 ☎ 082(511)1281
東京 ☎ 03(5276)8063	四国 ☎ 0897(34)8927
横浜 ☎ 045(242)6566	九州 ☎ 0942(38)1651
名古屋 ☎ 052(753)7872	長崎 ☎ 095(844)8406